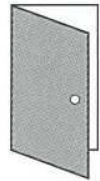


平成4年2月24日 第3種郵便物認可 剣友北海道 令和7年12月1日(2025年)

コラム

剣道談話室



札幌平岸剣道部会

剣士の母 岡崎舞子

剣道人生スタート！

息子の剣道生活は、小二の初夏、学校でもらった一枚のチラシから始まりました。

通っている小学校に道場があるというご縁もあり、すぐに入部を決めました。そして、あっという間に迎えた初めての区大会。その基本試合の初戦で自分に上げてもらった三本の旗が、彼の剣道人生のスイッチを「カチッ!!」と入れたようです。

平岸の先生方の、子供たち一人一人の個性に寄り添ってくださる、厳しくも温かいご指導のおかげで、三年生、四年生と、少しずつ、公式試合で勝ち上がれる回数が増えてきました。そして現在五年生。団体戦の「大将」という重要なポジションを任せて頂くようになり、この一年で、心の面での大きな成長を感じています。まず、何よりも息子にとって有り難い事は、「もっと剣道が強くなりたい!!」という、同じ志を持ったチームメンバーに恵まれていることです。一人が頑張るのではなく、普段の稽古の中で、お互いに声を

かけ合い、すれ違い様にはもれなくグータッチを交わし、どんなにきついメニューも、一緒に乗り越えています。そうして日々強くなるお互いへの信頼の絆で、チームにまとまりが生まれ、団体戦でも少しずつ、結果を残せるようになってきました。このような真っ直ぐな心を持つ仲間たちに支えられ、彼なりにチームをまとめ、試合の緊張・プレッシャーに打ち勝つ力が、徐々についてきているのでしよう。

平岸の剣士たちは本当に素直な子ばかりで、みんな仲も良く、先生方のアドバイスを真摯に受け止め稽古に励んでおり、一回の稽古で何かを掴む姿も何度も見ておりこれからもっと強くなるんだろうなと、親たちもワクワクが止まりません。どんなに厳しくても愛情たっぷりの先生方と、雨の日も雪の日も、どんなに早朝出発の大会遠征でもサポートしてくれるお父さんお母さん方に支えられながら確実に、ジワジワきている平岸剣道部会。そして、その一員の母として、卒団までの、きつとあつという間に過ぎてしまうであろう残り四年間、息子とみんなの成長を見守れる幸せを、大事にかみしめて、サポートしていきたいです。

平岸剣道部会のおかげで、剣道人生まっしぐらの息子たち。少しずつ、少しずつ前進して、強くなっていけると良いね！

全ての剣士のお父様お母様、心から、いつもお疲れ様です！